※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年6月30日

派遣決定番号

報告回次

1日目

送信先: report@r-ict-advisor.jp

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| 団体名 | 紋別市 | | | 代表者名 | 牧野 昌教 |
|-------|----------------|--------------|---------|--------------|-------|
| 担当者部署 | DX推進室 | | 連絡先電話番号 | 0158-24-2111 | |
| 担当者役職 | 副参事 | 担当者氏名 | 細川 翔平 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 094-8707 北海道紋兒 | 引市幸町2丁月1番18号 | | | |

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| アドバイザー | 白井 芳明 | |
|---------------|---|-----------------------------------|
| 評価 | 大変よい | |
| 上記評価の埋 | DXの取組みに係る背景と現状、その必要性など自 「どのようにDXに取り組めばいいのか」といった 部分についても、講演を通じて現段階で進めておく | 疑問や不安が解消された。また、自治体情報システムの標準化・共通化の |
| アドバイザー への要望事項 | 今後、DX全体順書のステップを進めていく際に発 | 生する課題や疑問等について、引き続き、ご相談させていただきたい。 |
| | | |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 3-1. | | 派遣日予定日(申請書より) | 支援内容(申請書より) | 期日・支援内容の変更あり | WEBでの手続き日 | 受付番号 |
|------|----|---------------|---------------|--------------|------------|----------|
| 対応日・ | 時間 | 令和4年6月23日 | 講演(実地) | 有 | | |
| | | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) |
| | | 令和4年6月28日 | 講演(実地) | 10時00分 | 11時40分 | |
| | | | | | 活動時間(分) | 100 |
| 3-2. | | 会場名 | 紋別市役所 | | 最寄駅 | 遠軽駅 |
| 派遣場所 | Ť | 所在地 | 紋別市幸町2丁目1番18号 | | 最寄駅からの交通手段 | バス |

| 4.報告書に関し | ンての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 ○掲載可 | | https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case- good practices/past year all houkoku/ | | |
|---|--|--|---|--|--|
| 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果 | | | | | |
| 5-1. 支援を受けた対象者 | | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 人数 | | |
| | | 職員 | 37 人 | | |
| 5-2. 支援を | 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | | | |
| 事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) | | 「なぜDXに取り組む必要があるのか」、「どののDXに関する必要性の認識や基礎的な知識が不 | ようにしてDXに取り組めばいいのか」など、職員 足している。 | | |
| 支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい) DXに関する基礎的な知識を習得し、自治体DX全体手順書で示されているステップO(DXの認有・機運醸成)からステップ1へと進めていく。 | | | 全体手順書で示されているステップO(DXの認識共 | | |
| | 支援を受けた内容 記入下さい) | 下記の項目を中心に職員向け研修会を開催した。 ・DXの背景や国の動きについて ・自治体DXの必要性について ・自治体DX推進計画の重点取組事項について ・白治体情報シフテムの標準化・共通化について | - | | |

| | ⁻ ロルドはスクノムツボギロ・大畑ロにフィト | | |
|----------------------------------|---|-------------------------|--|
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | DXに関する基礎的な知識の習得に加え、その必要性についても共通認識を図ることが出来た。また、自治体情報システムの標準化・共通化についても、現段階で取り組むべきことが明確化された。 | | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない | |
| | | | |
| 改善又は解決されなかった内容 | DXの共通認識や意識醸成等、本研修会として目指すものは達成できた。今後、ステップを進めていく中で発生する課題や疑問等については、引き続き、アドバイザーの支援を依頼したい。 | | |
| 持ち越しとなった内容 | | | |
| (具体的にご記入ください) | | | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果 | | |
| | DXの必要性や共通理解など、DXの根底の部分を学ぶための研修会としており、アンケートを実施する段階ではないと判断したため。 | | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものリストより選択下さい | ④予算以外で、今後取組む事項がある | |
| 事業の最終的な目指す姿 | DX全般としては、自治体DX推進計画を策定し、る都市を目指していく。 | この計画に基づき最適化されたデジタル田園地方 | |

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。 なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

3-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。









